

— 令和6年度の展覧会 —

常設展 きのくにの歩み — 人びとの生活と文化 —

令和6年4月2日(火)～9月29日(日)/12月7日(土)～令和7年3月30日(日)

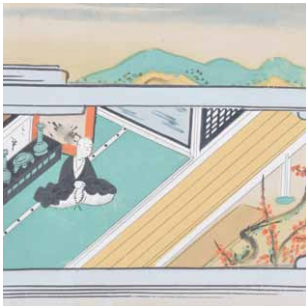


3万年にわたるきのくに—和歌山県の歴史を、人々の生活と文化を主題として、7つのコーナーに分けて、時代の順にわかりやすく展示します。なお、特別展「聖地巡礼—熊野と高野—」第III期展示の期間中は、常設展示を行っておりません。

◀ 常設展示室内

企画展 新収蔵品展

令和6年2月23日(金)祝～4月14日(日)



和歌山県立博物館では、和歌山ゆかりの文化財を後世に伝えていくため、購入や寄贈によって、館蔵品の収集を積極的におこなってきました。平成29年(2017)度以降に収集した館蔵品を中心に、和歌山の歴史を語る文化財を紹介します。

◀ 奈良絵本 西行(館蔵)

特別展 紀州東照宮の宝刀

令和6年4月27日(土)～6月2日(日)



江戸時代の初め、元和7年(1621)に紀伊徳川家初代藩主・頼宣が和歌浦に建立した紀州東照宮は、徳川家康を祭神として祀る神社として、人びとの尊崇を集めてきました。この特別展では、紀伊徳川家の歴代藩主・当主が紀州東照宮へ奉納した刀剣を、華麗な糸巻太刀拵などを含め、すべて展示します。

◀ 重要文化財 太刀 銘 左近将監景依(紀州東照宮蔵)

企画展 “写” — 絵師と陶工のまなざし —

令和7年3月15日(土)～4月20日(日)



日本美術において「写す」という営みは、単なる模写や複製の制作に限らず、技法の習得など多様な意味をもつものです。「写す」ことが積極的に求められることも多く、さらなる創造の源泉にもなりました。この企画展では、「写す」という視点から和歌山ゆかりの絵画・陶磁器の作品をご紹介します、その魅力に迫ります。

◀ 南紀男山焼 交趾写二彩花入(館蔵)

2024 4

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

◀ 休館日

5

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4		
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

◀ 休館日

6

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

10

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

◀ 休館日

9

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

11

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

◀ 休館日

12

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

◀ 休館日

2025 1

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

◀ 休館日

2

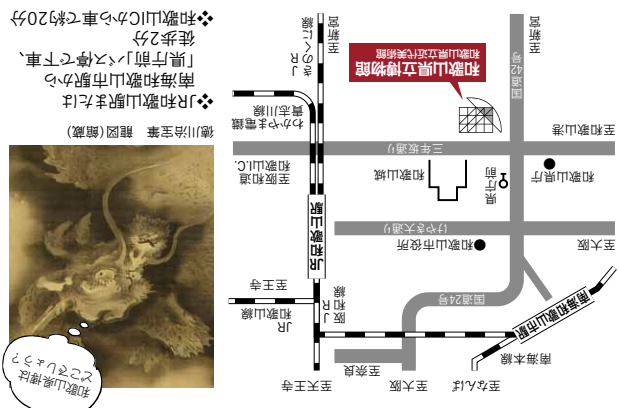
日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	

◀ 休館日

3

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

◀ 休館日



2024.4-2025.3 Exhibition calendar
展覧会カレンダー
 和歌山県立博物館
<https://hakubutu.wakayama.jp>
 〒640-8137 和歌山市吹上1-4-14 TEL.073-436-8670 FAX.073-436-6643

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録20周年記念特別展

聖地巡礼 — 熊野と高野 — 令和6年6月15日(土)～令和7年3月9日(日)

世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」は平成16年(2004)に登録され、令和6年(2024)には20周年の節目の年を迎えます。この特別展では「紀伊山地の霊場と参詣道」の世界遺産登録20周年を記念して、展示期間を全5期にわけ、熊野・高野の名宝を各期テーマを変えて展示します。年間を通じて、世界遺産「紀伊山地の霊場」の名宝の数々を紹介します。

特別展・第Ⅰ期 那智山・那智瀧の神仏 — 熊野那智大社と青岸渡寺 —
令和6年6月15日(土)～7月21日(日)



熊野三山のうち、現在もなお唯一神仏習合の景観を今に留めている那智山(熊野那智大社と青岸渡寺)。そして、その信仰の象徴・源泉とも見られる那智瀧。熊野那智山に顕れた神仏、そこで執り行われる祭礼、信仰を広めた御師の活動などを通じて、熊野信仰の成り立ちと広がりについて展示します。

◀和歌山県指定文化財 熊野那智参詣曼荼羅(熊野那智大社蔵)

特別展・第Ⅱ期 神仏・祖師の住まう山 — 高野山上・山麓の宗教文化 —
前期:8月3日(土)～8月25日(日)/後期:8月31日(土)～9月29日(日)



高野山は真言密教の聖地であり、祖師・弘法大師空海が祀られるとともに、地主神丹生明神も祀られ、神仏が共存する山として位置しています。聖地・高野山の複雑で豊饒な信仰と宗教文化を紹介し、あわせて高野山の影響なども受けながら育まれた、高野山麓に広がる豊かな宗教文化もあわせて取り上げます。

◀重要文化財 大日如来坐像(勸学院日本尊像)(金剛峯寺蔵)

特別展・第Ⅲ期 人・道・祈り — 紀伊路・伊勢路・大辺路をゆく —
10月12日(土)～11月24日(日)



聖地・熊野へ至る道沿いにも様々な霊地・霊場があり、参詣者はそれらの寺社にも立ち寄りながら旅をしました。熊野参詣も西国三十三所観音巡礼や伊勢参詣なども重なり合いつながりながら、その歴史や文化が育まれてきました。紀伊路・大辺路・伊勢路など沿道の文化財とともに、紀伊半島を舞台に複雑に交錯する信仰と参詣の文化を紹介いたします。

◀重要文化財 道成寺縁起 下巻(道成寺蔵)

特別展・第Ⅳ期 熊野信仰の美と荘厳 — 熊野速玉大社の神像と古神宝 —
12月7日(土)～令和7年1月19日(日)



聖地・熊野に祀られる荘厳な神々。また熊野の神々に対する信仰によって奉納された宝物の数々。これらは熊野への篤い信仰を象徴的に物語ります。熊野速玉大社が誇る神像と古神宝を中心に、熊野信仰のなかで生み出された荘厳かつ美しい宝物類の数々を展示します。

◀国宝 熊野速玉大神坐像(熊野速玉大社蔵)

特別展・第Ⅴ期 蘇りの地・熊野 — 熊野本宮大社・湯峯と熊野川 —
2月1日(土)～3月9日(日)



熊野三山の一つ熊野本宮大社は、もとは熊野川の中洲に鎮座しており、雄大な河川による恵みと猛威の歴史とともに歩んできました。熊野本宮大社の歴史と名宝を、山岳修験の「擬死再生」「蘇り」という視点で取り上げます。あわせて湯峯地区や熊野川に関わる文化財についても紹介します。

◀和歌山県指定文化財 熊野本地仏曼荼羅(熊野本宮大社蔵)

利用案内

開館時間 9:30～17:00(入館券販売は19:30で終了します)
休館日 月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始、特別展展示替え期間
入館料 常設展・企画展 一般 280円(230円)・大学生 170円(140円)
特別展 紀州東照宮の宝刀 一般 520円(420円)・大学生 310円(250円)
特別展 聖地巡礼—熊野と高野— 第Ⅰ期・第Ⅱ期・第Ⅳ期・第Ⅴ期 一般 520円(420円)・大学生 310円(250円)
第Ⅲ期 一般 1000円(800円)・大学生 800円(600円)
※()内は20名以上の団体料金。高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の外国人留学生は無料。
※特別展「聖地巡礼」は、2回目以降の入館については割引があります。
公共交通 和歌山駅、南海電鉄和歌山市駅からバスで約10分、「県庁前」で下車、徒歩2分。
駐車場 展示室へ入室のかたは2時間まで無料、以後30分ごとに100円。

利用案内
企画展
開館時間 9:30～17:00(入館券販売は16:30で終了します)
休館日 月曜日(祝休日の場合は翌平日)、年末年始、特別展展示替え期間
入館料 常設展・企画展 一般 280円(230円)・大学生 170円(140円)
※特別展は別料金 ※特別展は別料金 ※特別展は別料金
※()内は20名以上の団体料金。高校生以下、65歳以上、障害者手帳をお持ちの方、県内在学中の外国人留学生は無料。
公共交通 JR和歌山駅、南海電鉄和歌山市駅からバスで約10分、「県庁前」で下車、徒歩2分。
駐車場 博物館へ入室のかたは2時間まで無料、以後30分ごとに100円。

企画展
「写」
— 絵師と陶工のまなざし —
令和7年3月15日(土)～4月20日(日)
▶南紀男山族 交趾写二彩花入(館蔵)

和歌山県指定文化財 熊野本地仏曼荼羅(熊野本宮大社蔵)
令和7年2月1日(土)～3月9日(日)
— 熊野本宮大社・湯峯と熊野川 —
蘇りの地・熊野
特別展「聖地巡礼—熊野と高野—」
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録20周年記念

企画展
熊野信仰の美と荘厳
— 熊野速玉大社の神像と古神宝 —
令和6年12月7日(土)～令和7年1月19日(日)
▶国宝 熊野速玉大神坐像(熊野速玉大社蔵)

重要文化財 道成寺縁起 下巻(道成寺蔵)
10月12日(土)～11月24日(日)
— 紀伊路・伊勢路・大辺路をゆく —
人・道・祈り
特別展「聖地巡礼—熊野と高野—」
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録20周年記念

重要文化財 大日如来坐像(勸学院日本尊像)(金剛峯寺蔵)
後期:8月31日(土)～9月29日(日)
前期:8月3日(土)～8月25日(日)
— 高野山上・山麓の宗教文化 —
神仏・祖師の住まう山
特別展「聖地巡礼—熊野と高野—」
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録20周年記念

和歌山県指定文化財 熊野那智参詣曼荼羅(熊野那智大社蔵)
6月15日(土)～7月21日(日)
— 熊野那智大社と青岸渡寺 —
那智山・那智瀧の神仏
特別展「聖地巡礼—熊野と高野—」
世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録20周年記念

重要文化財 大刀 銘 左近将監景依(紀州東照宮蔵)
4月27日(土)～6月2日(日)
紀州東照宮の宝刀
特別展

奈良絵本 西行(館蔵)
2月23日(金)～4月14日(日)
新収蔵品展
企画展

常設展
きのくにの歩み
— 人びとの生活と文化 —
令和6年4月22日(火)～9月29日(日)
12月7日(土)～令和7年3月30日(日)
▶常設展示室内